

平戸市アルベルゴ・ディフーゾタウンモデル地区

城下町エリア・田助町エリアの2つのエリアの整備を行い、アルベルゴ・ディフーゾタウンとして認証されました。今後は、エリア内での認証施設の拡大と、大島村神浦地区エリア開設に向けた調査を行います。

伝統的建造物
・港地域

漁村・港
地域

城下町
エリア

令和7年度 調査実施予定地区

大島村神浦地区エリア

国の伝統的建造物群保存地区。現在でも江戸時代中期から昭和初期までの建物が、曲がった道に沿うように建てられていることも特徴の1つ。



令和6年度 認証地区② 田助町エリア

レセプション(受付)兼宿泊施設1棟の改修を実施



令和6年度 認証地区① 城下町エリア

レセプション(受付)兼宿泊施設1棟、宿泊施設1棟、飲食店3棟の改修を実施



城下町エリア・田助町エリアの宿泊施設と飲食店

整備された宿泊施設および飲食店はそれぞれ3棟あります。

今回、整備した施設の事業者に、アルベルゴ・ディフーゾに参画したきっかけや施設の特徴、これからの展望に対する思いなどを伺いました。(6～9ページで紹介)

宿泊施設

- ・The 曜 Terrace (城下町エリア) (★)
- ・甚兵衛邸 (城下町エリア)
- ・Sumiya Heritage Hotel (田助町エリア) (★)

※★の施設はレセプション(受付)を兼ねます

飲食店

- ・眺望亭「寅の月」(城下町エリア)
- ・おんちゃん(城下町エリア)
- ・磯かつ(城下町エリア)



Albergo Diffuso Town

特集 世界初!アルベルゴ・ディフーゾタウン認証

～平戸市がまるごとホテルに～

☎ 観光課観光振興班 ☎22-9140

6月1日(日)、The 曜 Terrace前広場(平戸市浦の町)で、イタリア発祥の観光まちづくりモデル「アルベルゴ・ディフーゾタウン」の認証式が行われました。自治体として世界で初めての認証となり、空き家・空き店舗を宿泊施設や飲食店へと改修し、街全体を”ひとつのホテル”と見立てておもてなしをする新しい「旅」のスタイルが始まりました。

平戸市アルベルゴ・ディフーゾタウンでは、レセプション(受付)や客室、飲食店など、それぞれが街の色々な場所に点在しています。1つの建物内で完結する従来のホテルとは異なり、ホテルはあくまでも寝泊りするための場所で、食事は地元の飲食店で楽しんでいただきます。街の暮らしを感じながら、新鮮な食材を使った料理を味わうことができ、街全体が旅の舞台となるユニークな体験です。

平戸市の「人・歴史・風土」などの魅力を肌で感じながら滞在できる新しいスタイルの「旅」。多くの人々が平戸市に訪れ、平戸のまちに溶け込むような「旅」を楽しんでいただきたいと思います。



認証式の様子



認証式に出席されたジャンカルロ・ダッラーラ会長



The 曜 Terraceで平戸観光協会が販売する商品



「Sumiya Heritage Hotel」

〜観光客や地元の人
交流で賑わう場所に〜

「平成19年から7年間、平戸市の国際交流員を務めていました。その頃から、いつかゲストハウスを運営したいという夢を持ち始め、当時、空き家となっていたこの建物に一目惚れして購入しました。コロナの時期を経て、本格的に宿泊業を始めようとしていた時に、アルベルゴ・ディフゾの話聞いて、参加したいと思いました」

そう語るのは、「Sumiya Heritage Hotel」の事業者であるレムコー・フロライクさん。

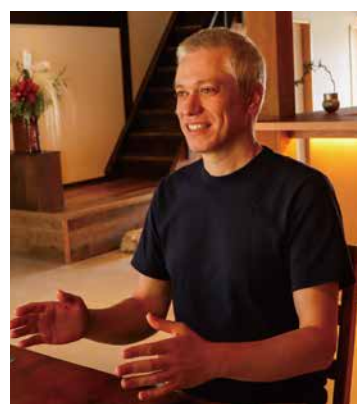
このホテルは、2階が宿泊スペースとなっており、昔ながらの建物の姿を活かし、歴史の趣を色濃く残しているところが特徴で、訪れる人にと



飲食店をしたいという1階の内観



歴史を感じさせる2階の寝室



Sumiya Heritage Hotel
レムコー・フロライク さん
(田助町)

こか懐かしさと温もりを感じさせます。

現在は、週末を中心に予約が入っており、リラックスしながら平戸を満喫できるため、宿泊者にはとても喜んでもらえているとのこと。

一方で、初めて宿泊業の経営に携わるため、開業に向けての準備にとっても苦慮し、特に、歴史を感じさせるこのホテルに合う家具の選定など、細かいところにこだわり、納得のいく仕上げに至るまで試

行錯誤が続いたそうです。

1階のスペースでは、将来的に飲食店をしたいという新たな夢を持っているレムコーさん。「アルベルゴ・ディフゾの取り組みを通して、歴史的な街並みや建物の魅力を平戸市外に発信していくのはもちろん、地元の人にも伝えていきたい。その中で、平戸市外・市内問わず、多くの人

が交流を深められる場所にしたいです」と語ってくれました。



The Terrace

甚兵衛邸

「The Terrace」

〜平戸の時を、暮らすように
味わう〜

「全国的に空き家・空き店舗が問題になっている中、この問題に取り組むため、平戸市と株式会社サンセイランディックは、令和5年に歴史的資源を活用した地域活性化事業の包括連携を締結。平戸市に点在する空き家などの活用に、当社の不動産再生力をもつて力になれば」と思いアルベルゴ・ディフゾに参画しました」と語るのは、「The Terrace」

「甚兵衛邸」の事業者で、東京に本社を置く株式会社サンセイランディック代表取締役の松崎隆司さん。

「The Terrace」は、長い歴史のある米蔵を改修し、柱や梁をそのまま活かすことで、江戸時代の佇まい



昔の柱や梁を活かしたThe Terraceの寝室



平戸大橋・平戸城を望むサウナ

と現代とを融合した、趣があり、ゆったりとくつろげる宿泊施設になっています。

もとは平戸藩上級武士の建物・敷地だった「甚兵衛邸」は、建物1棟ごと貸切できる宿泊施設に改修し、その庭にある、平戸大橋や平戸城を望めるバレルサウナが1番の魅力です。

株式会社サンセイランディックが普段から大切にしている「おもてなしの心」をどう施設に表現するのか一番に考

え、平戸市外から訪れる人、地元の人、海外から訪れる人など、違う価値観を持つすべての人に平戸の魅力を伝えるため、細かい部分までこだわったそうです。

「周辺には平戸の食材を楽しめる飲食店もたくさんあります。初めて訪れる人には、ぜひ平戸のファンになって何度訪れてほしいし、地元の人にも新たな平戸市の良さを発見してほしいです」と話してくれました。



The Terrace
甚兵衛邸
株式会社サンセイランディック
代表取締役 まつざき たかし
松崎 隆司 さん
(東京都)

「お店のリフォームをするタイミングでアルベルゴ・デیفゾの話聞き、これを機に、皆さんと一緒に平戸市を盛り上げることができたらと思いました」

そう語るのは、「おんちゃん」の事業者である小楠傑さん。街中の雰囲気、に溶け込むように工夫された店舗づくりが印象的なお店です。

特に意識したことは、「商店街を歩いている人が、外から店内の様子を見られる造りにしたこと」だそうです。中が見れることで誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気大切にしているそうです。

また、オープンにあたっては、お



おんちゃんの内観



宿泊者に提供する朝食

「おんちゃん」

〜ふらつと寄つて、ほつとするお店〜



おんちゃん
おぐす すぐる 小楠 傑 さん
(戸石川町)

店の前に設けたテラススペースの活用が課題とのことで、工夫した活用が今後の鍵になるとのことです。

「平戸市は、今、少しずつ変わりはじめています。その、今の平戸市を見に来てほしいです。そして、来てくださった人がその時の思い出を誰かに話したくなるような、そんな街にしたいです」と話してくれました。

「磯かつ」

〜観光と地元をつなぐ、食の入口に〜



磯かつ
みやくに 宮國 和彦 さん
(紺屋町)

「お店の改装を考えていたタイミングでアルベルゴ・デیفゾの話聞き、話を聞いてみようと思ったのが始まりです」と語るのは、「磯かつ」の事業者である宮國和彦さん。

平戸市に迎賓館のような場所を作りたいという気持ちがあり、お店はシンプルで余白のある空間にすることで、ゆったりとした高級感ある内観を意識したとのこと。

料理も高級感を意識しており、平戸市でとれる旬な魚、肉、野菜など、さまざまな食材を使用。色々な料理を一度に楽しめるものとなっております。訪れた人の中には次の予約をして帰る人もいそう、そういっ



磯かつの内観



宿泊者に提供する朝食

眺望亭「寅の月」

〜笑顔になれる場所、ここにありま〜



眺望亭「寅の月」
ひらた やよい 平田 彌生 さん
(宝亀町)

「平戸の食材を使ったお番屋店をしたいと考えていた時に、アルベルゴ・デیفゾの話聞き、参画したいと自分から話をしたのが始まりでした」と語るのは眺望亭「寅の月」の事業者である平田彌生さん。

店内から城下町を一望できる景色が、お店の一番の特徴で、その良さを最大限に活かした店内となっています。オープンから2カ月経ちますが、平戸市外からの観光客のみならず、地元の人も多く訪れているとのこと。

料理は、主に平戸市の食材を使用。1人で作っているため大変とのことですが、地元の人からのアドバイス



眺望亭「寅の月」の内観



宿泊者に提供する朝食

もあり、これから少しずつメニューを増やしていきたいとのこと。

「お店は松浦史料博物館敷地内にあり、松浦史料博物館あつてのお店。この町に少しでも恩返しすること、皆さんが料理を食べて、笑って、ここにきてよかった、また来よう、そう思ってもらえるようなお店にしたいです」と笑顔で話してくれました。